

SPANCRETE CORPORATION

Investors' Guide IR 2019

会社情報



陸上競技場(合成床)

株式会社 スパンクリートコーポレーション

本 社

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-3

Tel: 03-5689-6311 Fax: 03-5689-6321

www.spancretecorp.com

JASDAQ 〈 JASDAQスタンダード・コード 5277 〉

● みなさまとのコミュニケーションを大切に ●

インベスターズガイドについて

インベスターズガイドは、株主ならびに投資家のみなさまに、当社の財務内容を正確にお伝えするとともに、みなさまとのコミュニケーションの手段として発行を続けてまいりました。毎年約100通のアンケートの回答をいただき、ご意見の一部を編集に反映させていただいております。今後ともみなさまからのご意見をいただきたいと存じますので、同封のアンケート用ハガキにてお寄せいただければ幸いです。

■ 2019年3月期について

建設業界における市場環境は、東京オリンピック関連工事が本格化するものの、資材価格・エネルギーコスト・輸送価格が高騰し、労働者不足等による労務単価の上昇する経営環境が続いています。

このような状況下で当社のスパンクリート事業は、過去の販売低迷期に受注した物件の取引が増加したことと、資材価格、エネルギーコスト、輸送価格の高騰や労務単価の上昇があったものの、生産効率や採算性の改善および新規に受注した大型駐車場の貢献もあり増収増益となりました。不動産事業が、賃貸しています岩瀬工場の排水設備の改修費用を計上したため減益となりましたが、将来の収益性改善による税効果54百万円を計上したことにより、売上高4,207百万円（前期比23.9%増）、営業利益239百万円（前期比0.0%減）、経常利益260百万円（前期比0.3%増）、当期純利益279百万円（前期比35.5%増）となりました。

事業部門別の業績は、次のとおりです。

<スパンクリート事業>

スパンクリート事業は、東京オリンピック関連施設向けの量産と新規に受注した大型駐車場案件により売上数量が前期比44.1%増加し、売上高は3,895百万円（前期比26.2%増）と増収となりました。利益面に関しましては、諸コストが高騰するなか生産効率や採算性の改善で営業利益119百万円（前期比46.6%増）となりました。

<不動産事業>

不動産事業は、オフィスビル4棟の賃料収入が安定収益源となっており、売上高は311百万円（前期比1.0%増）となりましたが、賃貸しています岩瀬工場の排水設備の改修費用を計上したため、営業利益119百万円（前期比24.3%減）となりました。

■ 2020年3月期の業績予想

2020年3月期は、オリンピック・パラリンピック関連の諸工事が完了することと、新幹線防音壁や高層マンション向け床材の大半が翌期以降となるため出荷量が減少し、引き続き諸コストが高騰することが予想され、売上高3,644百万円（前期比13.4%減）、営業利益160百万円（前期比33.2%減）、経常利益180百万円（前期比31.0%減）、当期純利益152百万円（前期比45.6%減）を予想しております。

■ 配当の見通し

2019年3月期につきましては、当初予想の8円から2円増配し、1株あたり10円の配当を実施いたしました。2020年3月期につきましては、1株あたり10円の配当を予定しております。

ひとこと



代表取締役社長

浮田 聡

日ごろより、株式会社スパンクリートコーポレーションをご支援・ご愛顧いただき、誠に有難うございます。

当社の2019年3月期は、販売面では、オリンピック・パラリンピック関連物件や大型駐車場の新規受注で販売数量が大幅に増え、そのうえ、既存契約分に関してもコストアップ分を顧客にご理解頂くべく粘り強く交渉を行い、物流の確保に積極的にワークしました。製造面では、原材料の高騰、物流費の高騰などを可能な限り吸収し、コストの上昇を最少限におさえました。このような製造・販売面の不断の尽力が実り、3年連続の増収増益を果たし、昨年の秋に発表した中期経営計画の2019年3月期の利益目標を達成致しました。

2019年6月より新たに加わった役員とともに、企業価値の向上に向け、全社一体となり尽力してまいりますので、引き続き宜しく願い申し上げます。

中期（5年）計画 進捗報告

当社は、昨年11月に第57期（2019年3月期）から第61期（2023年3月期）までの中期（5年）計画「SPC plus ONE 2022【スパンクリート事業基盤の強化と新たな収益基盤の創出】」を策定し、2020年のオリンピック・パラリンピック後を見据えた利益体制確立のため経営目標を定めました。経営目標達成による当社の付加価値向上に向けて、次に掲げる「重点課題」に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

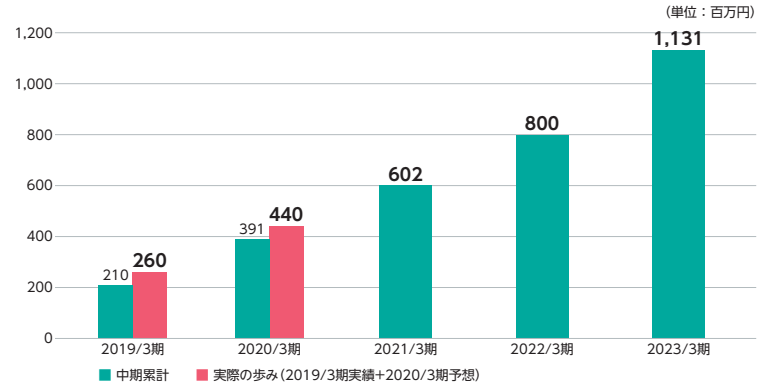
「重点課題」

- 1. スパンクリート事業の基盤強化
- 2. 新たな収益基盤の創出
- 3. 人材育成・情報化への対応
- 4. 不動産事業の収益維持

《経営目標（2023年3月期）》

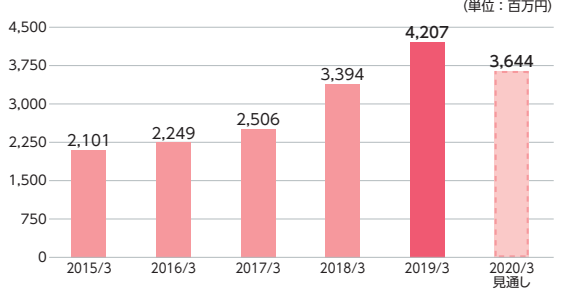
項 目	経営目標	2023年3月期	2019年3月期
税引前利益	5年間合計 11.3億円 (税後利益9.5億円)	279百万円	260百万円
自己資本比率	76%	76%	82%
配当額	5年間合計 3.2億円 (配当性向34%)	10円/株	10円/株 (配当性向27.7%)
ROE (自己資本利益率)	4 %	4 %	4.2%

中期計画期間における年度別税引前利益（累計表示）

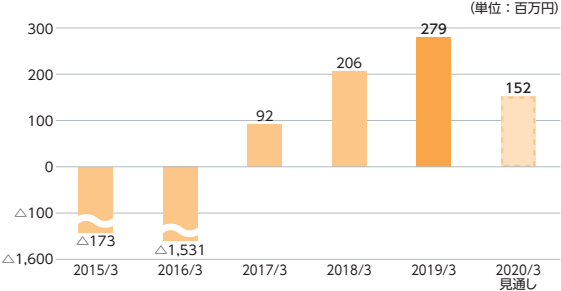


第57期 財務ハイライト（2019年3月期）

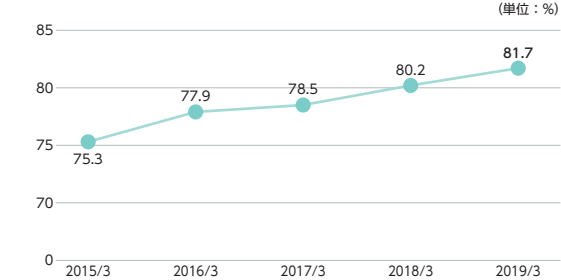
売上高



当期純利益



自己資本比率



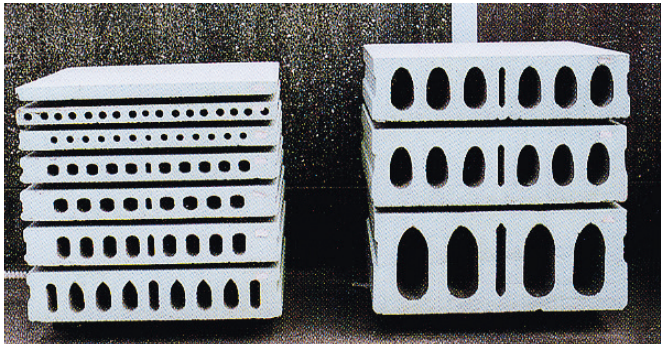
損益計算書

	2018年3月期	(%)	2019年3月期	(%)
売上高	3,394	100.0	4,207	100.0
営業利益	239	7.0	239	5.7
経常利益	260	7.6	260	6.2
税引前当期純利益	229	6.7	260	6.2
当期純利益	206	6.0	279	6.6

貸借対照表要旨

	2018年3月期	2019年3月期	(%)
資産の部			
流動資産	2,947	2,892	35.3
固定資産	5,159	5,292	64.7
資産合計	8,107	8,184	100.0
負債の部			
固定負債	606	470	5.8
負債合計	1,606	1,494	18.3
純資産の部			
純資産合計	6,500	6,690	81.7
負債純資産合計	8,107	8,184	100.0

スパンクリート



スパンクリート標準製品。スパンクリートは縦方向に数個の穴をもち、PC鋼線によってプレストレスを与えられたコンクリート板です。床材として、また壁材として建築から土木まで多目的に使用可能な材料です。厚さ7cmから35cmまで17種類。高耐力、ロングスパンが特長です。当社はスパンクリートの生産・販売を行っております。

スパンクリートの特長

高強度部材で大スパンに適します



防水性に優れています



防火性に優れています

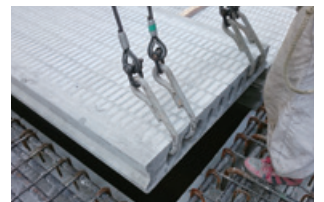


遮音性に優れています



主な実績

〈物流施設〉合成床



千葉県市川市に建設された大型物流施設の1階床にスパンクリート合成床が採用になりました。型枠支保工を必要としないことで工期短縮となり、一部断熱材を打込んだ製品を納めたことで現場作業の省力化につながりました。

〈総合スポーツ施設〉合成床



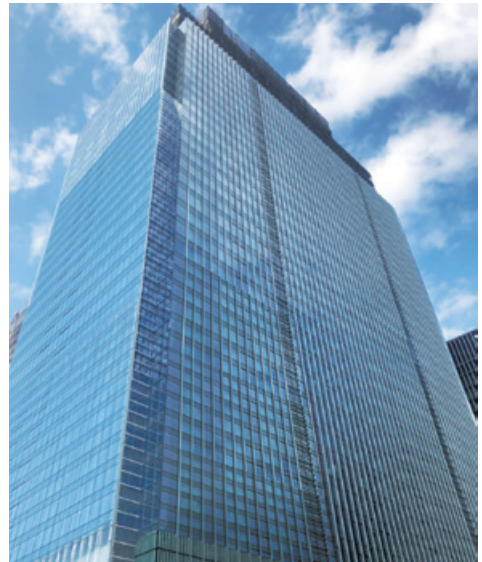
〈冷凍倉庫〉外壁・合成床



〈某再開発〉合成床



〈オフィスビル〉床



〈駅〉ホーム床



〈マンション〉合成床



PCa（プレキャストコンクリート）

基礎大梁



犬走り



免震蓋



岩瀬工場にて、プレキャスト製品の製造を開始し、免震大型物流倉庫の基礎大梁・建物外周の犬走りスラブ・免震建物の動きに追従できる免震蓋、更には集合住宅のバルコニーなどを出荷しました。現在までに出荷した最も大きな製品は、コンクリート5.5m³、13t超の基礎大梁です。

表紙の写真提供：株式会社川澄・小林研二写真事務所

資料請求、お問い合わせは…

株式会社スバンクリートコーポレーション
IR担当 武田喜之
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-3
電話 03(5689)6311

制作協力：

株式会社プロネクス
営業第2部 大木 整
〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング
電話 03(5777)3012

会社の概要

- 1. 会 社 名 株式会社スパンクリートコーポレーション
(英 文 名) SPANCRETE CORPORATION
- 2. 設 立 1963年 (昭和38年) 3月23日
- 3. 資 本 金 32億9,590万円 (2019年3月31日現在)
- 4. 役 員

代表取締役社長執行役員 浮 田 聡
取締役 多 田 昌 司
取締役執行役員 村 山 典 子
取締役執行役員 井 上 孝 広
取締役執行役員 柳 田 洋 明
* 取締役 坪 井 哲 明
* 取締役 大 塚 直 義
* 取締役 仮 屋 毅
取 締 役 加 戸 貞 之
** 常 勤 監 査 役 一 瀬 茂 雄
** 監 査 役 鈴 木 誠
** 監 査 役 中 野 剛
** 監 査 役 野 澤 弘 史
執 行 役 員 菊 池 透
執 行 役 員 井 上 卓 郎
執 行 役 員 武 田 喜 之

(2019年6月26日現在)

*は社外取締役です
**は社外監査役です

- 5. 本 社 東京都文京区湯島2-4-3
〒113-0034 TEL(03)5689-6311
仙台営業所 宮城県仙台市泉区泉中央1-28-22
プレジデントシティビル
〒981-3133 TEL(022)347-3263
宇都宮工場 栃木県宇都宮市平出工業団地8-5
〒321-0905 TEL(028)661-2211
- 6. 取 引 銀 行 みずほ銀行
三菱UFJ銀行
三井住友銀行
みずほ信託銀行

主要取引先

- 設計事務所 三菱地所(株)・(株)日建設計・(株)日本設計・(株)佐藤総合計
画・(株)日建ハウジングシステム・東電設計(株)・(株)松田
平田設計・(株)梓設計・(株)今川建築設計事務所・(株)横河
建築設計事務所・(株)ジェイアール東日本建築設計事務
所・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構・(株)久
米設計・(株)石本建築事務所 他
- 商 社 三菱商事建材(株) 他
建 設 会 社 鹿島建設(株)・大成建設(株)・清水建設(株)・(株)竹中工務店
(株)大林組・前田建設工業(株)・戸田建設(株)・西松建設(株)
東急建設(株)・(株)ピーエス三菱・鉄建建設(株)・(株)浅沼組 他

会社の沿革

- 1963年 3月 スパンクリート製造株式会社 (旧社名) 設立
資本金1,000万円 代表取締役社長 村山好弘就任
7月 資本金1億円に増資
- 1964年 2月 宇都宮第1工場屋外生産設備完備 試作開始 営業開始
- 1970年 10月 宇都宮第2工場建設完了 生産開始
- 1976年 5月 JISA6511 (空胴プレストレストコンクリートパネル) 制定される
- 1982年 12月 宇都宮工場 JIS 指定工場となる
- 1984年 3月 スパンクリート合成床工法 建設大臣認定を取得
7月 宇都宮第3工場生産設備完了 生産開始
- 1989年 5月 スパンクリート合成床工法 特許を取得
11月 資本金14億9,759万円に増資
11月 岩瀬工場建設完了 生産開始
- 1990年 2月 スパンクリート合成床工法 発明大賞受賞
- 1991年 2月 社名をスパンクリート製造株式会社から株式会社スパン
クリートコーポレーションに変更
4月 スパンクリート合成床工法 科学技術庁長官賞受賞
9月 株式を公開 (店頭) 資本金32億3,459万円に増資
- 1992年 4月 当社代表取締役社長 村山好弘 黄綬褒章受章 (スパン
クリート合成床の発明考案など業務精励)
- 1996年 7月 本社を文京区本郷4丁目に移転
- 2003年 8月 Jスラブ (組立床工法) 財団法人日本建築センターの
構造評定を取得
- 2005年 6月 原田穰代表取締役社長就任
- 2010年 6月 齊藤建次代表取締役社長就任
7月 本社を文京区湯島に移転
11月 岩瀬工場閉鎖
生産設備を宇都宮工場に統合
- 2013年 6月 飯牟礼聡代表取締役社長就任
6月 東日本旅客鉄道 (株) とホームドア設置用床の
共同特許取得
- 2015年 11月 コージェネレーションシステム導入
- 2016年 6月 浮田聡代表取締役社長就任
- 2017年 2月 新製品「クレスタウォール」販売開始
(高橋カーテンウォール工業 (株) との共同開発)
- 2018年 12月 PCa (プレキャストコンクリート) 試験製造開始

大株主

- 1 三菱商事 (株)
- 2 日本スパンクリート機械 (株)
- 3 村山 典子
- 4 日鉄SGワイヤ (株)
- 5 村山 知子



宇都宮工場